製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名称	HYベース HY－B
製品分類	セメント混合物
会社名	東洋ゴム化工品株式会社
担当部署	防水資材販売部
住所	東京都新宿区天神町10番地
電話番号	03－3235－1713
FAX番号	03－3235－1500
推奨用途及び使用上の制限連絡先	トーチ工法用 防水改修下地処理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
健康に対する有害性	
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
発がん性	区分1A
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、腎臓)

＊上記で記載ない危険有害性は、分類対象外あるいは分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 発がん性のおそれ 呼吸器系の障害 長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
注意書き	
《予防策》	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じんを吸入しないこと。 ミストを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
《対応》	飲み込んだ場合、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露した場合、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。

《保管》 施錠して保管すること。

《廃棄》 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委すること。

3. 組成、成分情報

単一成分・混合物の区別:混合物　一般名:セメント混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
特殊セメント	10～20%	—	—	—	—
珪砂	45～55%	SiO_2	(1)－548	既存	14808-60-7
炭酸リチウム	＜0.03%	Li_2CO_3	(1)－154	既存	554-13-2
その他	20～30%				

労働安全衛生法　名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
シリカ(政令番号:312)

4. 応急処置

吸入した場合
医師に連絡すること。
呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
水と石鹸で洗うこと。
医師に連絡すること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと、次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性
それ自身には火災による危険有毒性は無い。

消火を行う者の保護
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
大気拡散しないように留意する。

回収・中和
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
大量の場合、漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	眼、皮膚にふれないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。 粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	情報なし。
安全取扱い注意事項	眼や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。 内容物を故意に吸い込まないこと。 換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 取扱い後は、うがい、洗顔、手洗いを励行する。
保管	保管場所の床は、床面に水が浸入し、又浸透しない構造とすること。
技術的対策	保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。
保管条件	湿気を避ける。 情報なし
容器包装材料	

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
石英	0. 025mg/㎥	TWA 0. 03mg/㎥	TWA 0. 025mg/㎥

設備対策	取り扱いは換気のよい場所で行う。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク、簡易防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚および身体の保護具	保護服、保護長靴等
衛生対策	「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	固体(粉末)
色	灰色
臭い	無臭
pH	水に接触すること
融点/凝固点	約1350℃/－
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	データなし
自然発火温度	情報なし
比重(密度)	2. 6－3. 0g/c㎥
溶解性	水に難溶
オクタノール／水分配係数	情報なし
その他	爆発性なし、水硬性

10. 安定性および反応性

安定性	水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性	該当しない。
避けるべき条件	水、湿気。
危険有害な分解生成物	該当しない。

11. 有害性情報

石英として	
生殖細胞変異原生	マウス骨髄小核試験:陰性
	in vitro 染色体異常試験:陰性
	in vitro 小核試験:陽性
発がん性	IARC:1、NTP:K、産衛学会:1

12. 環境影響情報

生体蓄積性	情報なし。
環境影響その他	接触水はアルカリ性(pH 11－13)を呈するため、環境に影響を及ぼさないように注意する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器および包装	下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	該当しない
国内規制	特に注意する規制はない。
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	該当しない
特別安全対策	粉塵のたたない方法で輸送する。破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。湿気、水漏れに注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表9)
消防法	非危険物
大気汚染防止法	有害大気汚染物質(法第2条第13項、環境庁通知)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
労働安全衛生法	第57条の2第1項 通知対象物 政令番号第311号(シリカ)
	粉じん障害防止規制
じん肺法	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他

主な引用文献	NITE 製品評価技術基盤機構 総合情報
	化学物質の危険、有害便覧 中央労働災害防止協議会
	GHS分類結果データベース(製品評価技術基盤機構)

〇本文中の記載内容は、当社の最善の知見に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

〇すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださる様御願い申し上げます。